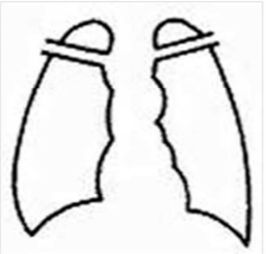
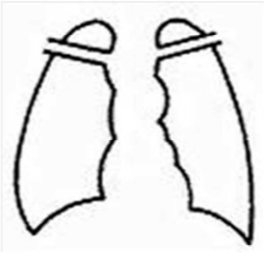


身体障害者福祉法施行細則（昭和三十五年大分県規則第七十八号） 新旧対照表

改正案（新）	現行（旧）
<p><b>第4号様式（第6条関係）</b>                      総括表（省略）                      1～7（省略）                      8 呼吸器の機能障害の状況及び所見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">(該当するものを○でかこむこと)</p> <p>1 身体計測</p> <p style="padding-left: 20px;">身長      cm      体重      kg</p> <p>2 活動能力の程度</p> <p style="padding-left: 20px;">ア <u>激しい運動をした時だけ息切れがある。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">イ <u>平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩くときに息切れがある。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">ウ <u>息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">エ <u>平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">オ <u>息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。</u></p> <p>3 胸部エックス線写真所見（      年      月      日）</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 胸膜癒着      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 気腫化      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 線維化      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">エ 不透明肺      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">オ 胸郭変形      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">カ 心・縦隔の変形      (無・軽度・中等度・高度)</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>4 換気機能（      年      月      日）</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 予測肺活量      <u>      </u> L (実測肺活量      <u>      </u> L)</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 1秒量      <u>      </u> L (実測努力肺活量      <u>      </u> L)</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 予測肺活量1秒率      <u>      </u> % <math>\left( = \frac{イ}{ア} \times 100 \right)</math></p> <p style="padding-left: 20px;">(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)</p> </div>	<p><b>第4号様式（第6条関係）</b>                      総括表（省略）                      1～7（省略）                      8 呼吸器の機能障害の状況及び所見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">(該当するものを○でかこむこと)</p> <p>1 身体計測</p> <p style="padding-left: 20px;">身長      cm      体重      kg</p> <p>2 活動能力の程度</p> <p style="padding-left: 20px;">ア <u>階段を人並みの速さで上れないが、ゆっくりなら上れる。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">イ <u>階段をゆっくりでも上れないが、途中休みながらなら上れる。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">ウ <u>人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">エ <u>ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">オ <u>息苦しくて身の回りのこともできない。</u></p> <p>3 胸部X線写真所見（      年      月      日）</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 胸膜癒着      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 気腫化      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 線維化      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">エ 不透明肺      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">オ 胸郭変形      (無・軽度・中等度・高度)</p> <p style="padding-left: 20px;">カ 心縦隔の変形      (無・軽度・中等度・高度)</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>4 換気機能（      年      月      日）</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 予測肺活量      <u>      </u> ml</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 1秒量      <u>      </u> ml</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 予測肺活量1秒率      % <math>\left( = \frac{イ}{ア} \times 100 \right)</math></p> <p style="padding-left: 20px;">(ア・ウについては、次のノモグラムを使用すること。)</p> </div>

肺活量予測式 (L)

男性  $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性  $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性 18 - 91 歳、女性 18 歳 - 95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと)

5 動脈血ガス ( 年 月 日 )

ア O<sub>2</sub> 分圧 :    .  Torr

イ CO<sub>2</sub> 分圧 :    .  Torr

ウ pH :  .

エ 採血より分析までに時間を要した場合   時間   分

オ 耳朶血を用いた場合 : [  ]

6 その他の臨床所見

(削除)

5 動脈血ガス ( 年 月 日 )

ア O<sub>2</sub> 分圧 :    .  Torr

イ CO<sub>2</sub> 分圧 :    .  Torr

ウ pH :  .

エ 採血より分析までに時間を要した場合   時間   分

オ 耳朶血を用いた場合 : [  ]

6 その他の臨床所見

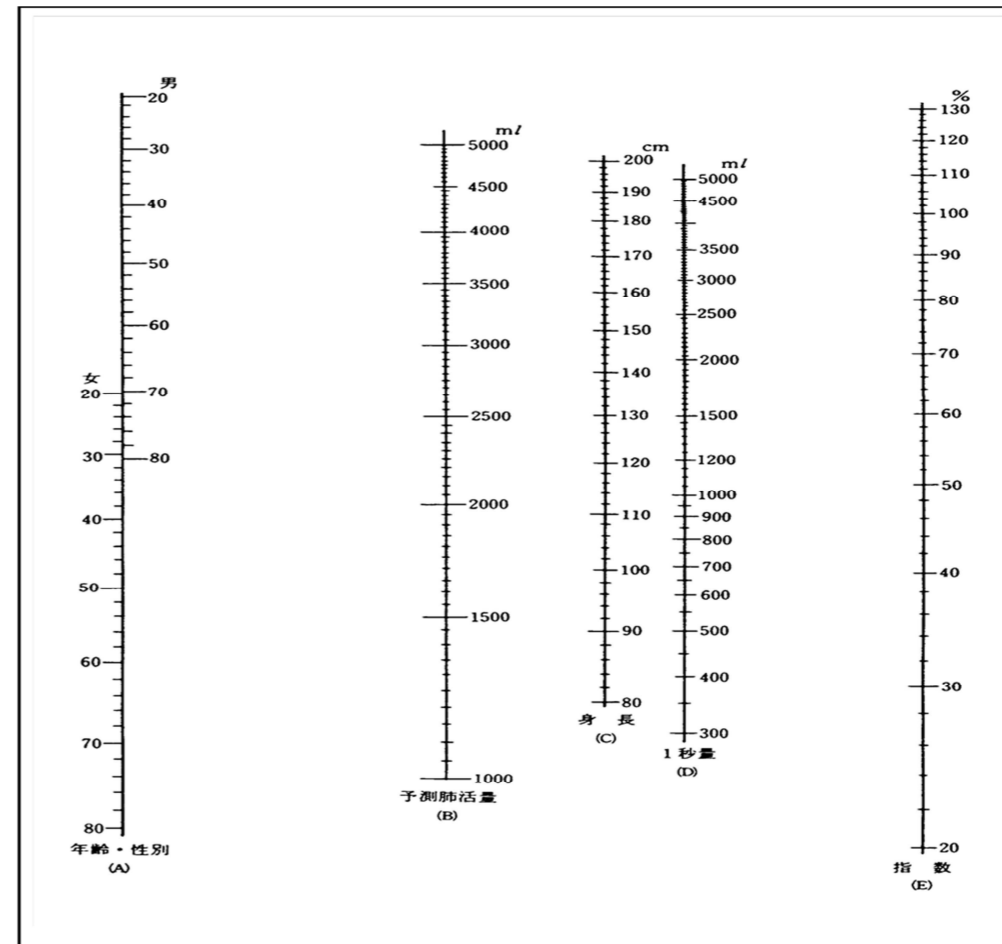
ノモグラムの使い方

1 (A)と(C)から、(B)上に Baldwin の予測式による予測肺活量が得られる。(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する 1 秒率が得られる。

2 (D)を 1 秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。

3 (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の 1 秒率が得られる。

(削除)



9 ～11-2 (省略)

12 肝臓の機能障害の状況及び所見

1 肝臓機能障害の重症度

	検査日 (第1回)		検査日 (第2回)			
	年	月	日	年	月	日
	状態	点数	状態	点数		
肝性脳症	なし・I・II III・IV・V		なし・I・II III・IV・V			
腹水	なし・軽度 中程度以上 概ね 0		なし・軽度 中程度以上 概ね 0			
血清アルブミン値	g/dℓ		g/dℓ			
プロトロンビン時間	%		%			
血清総ビリルビン値	mg/dℓ		mg/dℓ			

合計点数	点	点
(○で囲む)	5～6点 ・ 7～9点 ・ 10点以上	5～6点 ・ 7～9点 ・ 10点以上
肝性脳症又は腹水の項目を 含む3項目以上における 2点以上の有無	有 ・ 無	有 ・ 無

注1 90日以上180日以内の間隔において実施した連続する2回の診断・検査結果を記入すること。

注2 点数は、Child-Pugh分類による点数を記入すること。

<Child-Pugh分類>

	1点	2点	3点
肝性脳症	なし	軽度 (I・II)	昏睡 (III以上)
腹水	なし	軽度	中程度以上
血清アルブミン値	3.5g/dℓ超	2.8～3.5g/dℓ	2.8g/dℓ未満
プロトロンビン時間	70%超	40～70%	40%未満
血清総ビリルビン値	2.0mg/dℓ未満	2.0～3.0mg/dℓ	3.0mg/dℓ超

注3 肝性脳症の昏睡度分類は、犬山シンポジウム (1981年) による。

注4 腹水は、原則として超音波検査、体重の増減、穿刺による排出量を勘案して見込まれる量が概ね10以上を軽度、30以上を中程度以上とするが、小児等の体重が概ね40kg以下の者については、薬剤によるコントロールが可能なものを軽度、薬剤によってコントロールできないものを中程度以上とする。

2 ～ 4 (省略)

9 ～11-2 (省略)

12 肝臓の機能障害の状況及び所見

1 肝臓機能障害の重症度

	検査日 (第1回)		検査日 (第2回)			
	年	月	日	年	月	日
	状態	点数	状態	点数		
肝性脳症	なし・I・II III・IV・V		なし・I・II III・IV・V			
腹水	なし・軽度 中程度以上 概ね 0		なし・軽度 中程度以上 概ね 0			
血清アルブミン値	g/dℓ		g/dℓ			
プロトロンビン時間	%		%			
血清総ビリルビン値	mg/dℓ		mg/dℓ			

合計点数	点	点
3点項目の有無 (血清アルブミン値、プロトロンビン時間、血清総ビリルビン値)	有 ・ 無	有 ・ 無

注1 90日以上180日以内の間隔において実施した連続する2回の診断・検査結果を記入すること。

注2 点数は、Child-Pugh分類による点数を記入すること。

<Child-Pugh分類>

	1点	2点	3点
肝性脳症	なし	軽度 (I・II)	昏睡 (III以上)
腹水	なし	軽度	中程度以上
血清アルブミン値	3.5g/dℓ超	2.8～3.5g/dℓ	2.8g/dℓ未満
プロトロンビン時間	70%超	40～70%	40%未満
血清総ビリルビン値	2.0mg/dℓ未満	2.0～3.0mg/dℓ	3.0mg/dℓ超

注3 肝性脳症の昏睡度分類は、犬山シンポジウム (1981年) による。

注4 腹水は、原則として超音波検査、体重の増減、穿刺による排出量を勘案して見込まれる量が概ね10以上を軽度、30以上を中程度以上とするが、小児等の体重が概ね40kg以下の者については、薬剤によるコントロールが可能なものを軽度、薬剤によってコントロールできないものを中程度以上とする。

2 ～ 4 (省略)